

事業番号	10 03 01	事業改善シート(30年度実施事業分)	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検
事業名	県産材振興対策事業	部局	林務部
		課・室	県産材利用推進室
		実施期間	H14 ~
		E-mail	mokuzai@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)			
8つの重点目標			
総合的に展開する重点政策	2-2 地域内経済循環の促進	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進	
	2-3 海外との未来志向の連携		

### 1 事業の概要

現状 (予算編成時)	里山との関わりが薄れ、日常的に木材が利用される環境が減少し、間伐材を地域で利用する仕組み等が整っていないため、県産材の利用が進んでいない。また、公共建築物等への木材利用の促進に関する法律が施行され、木材需要の拡大が期待されるなかで、需要者を対象とした木材利用の積極的なPRが必要である。	30年度 決算額	50,055 千円											
目指す姿	県産材の利用を促進し、県産材の需要拡大による林業・木材産業の振興を推進する。また、最先端の林業・木材産業及びバイオマスエネルギーに関わる技術の導入等を図り、木材資源を活用した持続可能な資源循環型社会の構築を目指す。 (主な実施内容:子どもの居場所の木質化や地域での木材利用の推進、信州木材認証製品等による県産材の需要拡大、木造公共施設の木造化の整備、最先端の林業技術等の導入など)	職員数	10.90 人											
事業 コス ト	区分(単位:千円)	29年度	30年度	令和元年度	指標及びその達成状況									
	予算 額	前年度繰越	25,397	0	0	No	成果指標	29年度	30年度					
		当初予算	199,467	118,974	51,057				目標値	成果	達成状況			
		補正予算	-160,000	-64,650	0				①	素材(木材)生産量 (千m <sup>3</sup> )	541	552	540	未達成
		合計(A)	64,864	54,324	51,057				②	県産材の製材品出荷量 (千m <sup>3</sup> )	116	128	96	未達成
	Aの 財源	一般財源	0	12,726	8,200	③	木質バイオマス生産量 (千m <sup>3</sup> )	59	57	55	未達成			
		県債	0	0	0									
		国庫支出金	0	2,700	2,150									
		その他	64,864	38,898	40,707									
	決算額(B)	37,189	50,055											
概算 人件 費	職員数(人)	10.90	10.90	10.90	成果指標 設定理由									
	概算人件費(C)	89,576	89,576	89,576						①県産材の利用促進を図るため、素材生産量を目標として設定。 ②県産材の利用促進を図るため、製材品出荷量を目標として設定。 ③森林資源のエネルギーとしての利用促進を図るため、木質バイオマスの生産量を目標として設定。				
概算事業費(B(A)+C)	126,765	139,631	140,633											
備考														
目標に対する 成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果指標に掲げる生産量・出荷量は近年増加傾向で推移しているが、平成30年度の素材生産量及び木質バイオマス生産量は前年度並、製材品出荷量は減少となり、いずれも目標値を下回った。</li> <li>成果指標が目標値に届かなかった主な理由として素材生産量・木質バイオマス生産量については、林業就業者数が目標を下回っている状況であること、県産材の製材品出荷量については、県外合板工場等で長野県産材の需要が増加していること、信州F・POWERプロジェクトにおける販路拡大対応の遅れによるものと考えられる。</li> </ul>													

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	課題	今後の方向性
	本県の森林資源の成熟に伴い、県内における素材生産量は確実に増加していくと見込まれることから、県産材の需要拡大と利用促進を図るための施策が必要。	引き続き、本事業により県産材に関する普及啓発を図り、県産材利用を促進する。	

### 3 事業を構成する細事業の内容

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
1		地球温暖化防止木材利用普及啓発事業	県産材を利用した建築物・木製品等のCO2固定量を認証するための委員会を開催(9件)	0.40	565	235	567
2		地消地産による木の香る暮らしづくり事業	子どもが行う木工体験活動の支援(25件)、「子どもの居場所」の木造・木質化及び木のおもちゃ等の設置(64件)、県産材公共サイン設置に向けた取組を実施	3.60	41,340	30,108	32,300
3		薪によるエネルギーの地消地産事業	薪を資源として有効活用するための流通システムの構築を支援(3地域)。	1.20	3,750	3,664	3,750
4		信州の木ブランド強化促進事業	県産材製品の品質確保と情報発信のため、認証審査委員会、研修会等の取組を支援。	0.40	900	900	900
5		木造公共施設整備事業	予算編成時に実施を見込んでいた事業の計画見直しにより未実施。	0.50	55,000	0	0
6		信州の木と住まいの総合対策事業	県産材の住宅分野への利用を促進するため、セミナー、展示会等の取組を支援。	0.40	2,500	1,700	1,950
7		県産材活用加速化推進事業	森林認証材の東京オリンピック・パラリンピック施設への活用、信州プレミアムカラマツの販売促進に向けた強度試験等の取組を支援。	2.20	2,893	2,398	3,590
8		木質バイオマス情報集積・発信基盤づくり支援事業	-	0.00	0	0	0
9		信州産ペレット消費拡大事業	市町村が実施する個人向けペレットストーブの導入を支援(87台)。	1.20	7,500	6,524	8,000

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
10		国際林業技術交流ネクストステージプロジェクト	オーストリアからの技術導入や本県の木と森の文化の発信を推進するため、展示会出展や林業先進地視察等を実施。	1.00	4,526	4,526	※事業 100104 に移管
11		木育推進事業	—				
12		信州の木活用モデル地域支援事業	—				
13		長野・オーストリア林業技術交流事業	—				
14		林業再生推進活動事業	—				
<b>合計</b>				<b>10.90</b>	<b>118,974</b>	<b>50,055</b>	<b>51,057</b>

事業改善シート附表

□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事業番号	事業名	県産材振興対策事業				部局	林務部	課・室	県産材利用推進室			
10 03 01												
細事業 No	細事業名	項目	実施方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施 状況	29年度	30年度				
							当初 (千円)	要求 (千円)	当初 (千円)	補正 (千円)	決算 (千円)	
1	地球温暖化防止木材利用普及啓発事業	審査委員会運営費、事務費	直接	C02固定化により地球温暖化防止や森林整備に貢献するため、県産材を利用したC02固定量認定対象住宅の認定(500t-C02)と制度のPRを行う。	審査委員会を2回開催し、9件の民間建築物・公共建築物・木製品について合計354tのC02固定量を認証。	計画通り ○	557	565	565		235	
2	地消地産による木の香る暮らしづくり事業	子どもの居場所の木質空間整備支援・木工体験活動支援	補助金	県産材の利用促進のため、キッズスペース等の子供の居場所の木造・木質化(5件)や木製家具等設置(30件)、子どもを対象とした木製品づくり活動(21件)への支援を行う。	子どもの居場所の木質空間整備は、計画を上回る木造・木質化7件、木のおもちゃ・調度品等の設置57件を支援。木工体験活動は25件を支援。	計画通り ○	0	31,150	30,800	-2,650	27,271	
2	地消地産による木の香る暮らしづくり事業	県産材公共サインの統一・製作	直接	県産材の利用促進のため、観光地における県産材公共サインの製作を行う。	県産材の利用促進のため、観光地等における県産材公共サイン設置に向けた基本コンセプトを作成。	計画通り ○	0	10,593	10,540	-7,000	2,837	
3	薪によるエネルギーの地消地産事業	薪流通プロジェクト支援	補助金	身近な森林資源である薪の利用を促進するため、県内2地域におけるコンパクトな薪流通システムの構築を支援する。	計画を上回る3地域において、薪を資源として有効活用するための流通システムの構築を支援。	計画通り ○	0	3,750	3,750		3,664	
3	薪によるエネルギーの地消地産事業	同上	直接	身近な森林資源である薪の利用を図るため、一般消費者に向けた薪ストーブの導入PR(イベント、セミナー開催)を行う。	-		0	1,000	0		0	
4	信州の木ブランド強化促進事業	信州の木ブランド強化促進補助金	補助金	県産材の品質確保と消費者への情報提供を行うため、信州木材認証製品に係る品質管理研修(2回)、工場巡回指導(10回)、企業指導・講習、普及啓発等を支援する。	認証審査委員会2回、工場巡回指導12回、各種研修会3回等の取組を通じ、県産材製品の品質確保と情報発信を支援。	計画通り ○	900	900	900		900	
5	木造公共施設整備事業	木造公共施設整備費	補助金	木造施設の建築促進のため、県産材を一定以上利用する公共施設の木造化・木質内装の整備を支援する。	予算編成時に実施を見込んでいた事業の計画見直しにより未実施。	未実施 ×	160,000	55,000	55,000	-55,000	0	
6	信州の木と住まいの総合対策事業	信州木の家県産材利用推進事業費、接着重ね梁の販路拡大費用	補助金	間伐材の住宅への需要確保のため、ウッドマイスター講座の開催(1回)、展示会出展(3回)、接着重ね梁PRのための展示会出展(1回)等の支援を行う。	セミナー4回、展示会3回、接着重ね梁実証展示1箇所等の取組を通じ、県産材の住宅分野への利用促進を支援。	計画通り ○	2,500	2,500	2,500		1,700	
7	県産材活用加速化推進事業	森林認証材の普及啓発支援	補助金	県産材の利用拡大を図るため、森林認証材の活用、普及啓発に対する支援を行う。	東京オリ・パラ選手村の部材供給事業協力者である根羽村、川上村、天龍村による認証材運搬・普及啓発活動を支援。	計画通り ○	0	10,228	1,850		1,500	
7	県産材活用加速化推進事業	信州プレミアムカラマツ販売戦略	直接	信州プレミアムカラマツの販売促進を図るため、強度試験、商標登録を行う。	国有林から出材したカラマツ大径材の強度試験を実施し、信州プレミアムカラマツの商標登録に向けた検討を実施した。	計画通り ○	0	43	1,043		898	
8	木質バイオマス情報集積・発信基盤づくり支援事業	木質バイオマス情報の一元化と、バイオマス関係者による協会設立支援	補助金	地域の森林資源の適正利用と関係者相互の技術研鑽等を図るために、木質バイオマスに関する情報の一元化と関係者の組織化の支援を行う。	-		0	1,000	0		0	
9	信州産ペレット消費拡大事業	個人向けペレットストーブ導入支援の補助	補助金	本県の森林資源の有効活用を加速させるために、県内ペレットストーブユーザーのストーブ購入(100台)への支援を行う。	一部市町村で事業要望がなかったものの、概ね計画どおりの87台のペレットストーブの導入に支援した。	計画通り ○	0	10,000	7,500		6,524	
10	国際林業技術交流ネクストステージプロジェクト	林業立国、バイオマス先進国との連携	負担金	県内木材産業の発展のため、オーストリアでの展示会出展による本県の「木と森の文化」の発信、同国との技術交流を推進する。	オーストリアからの技術導入や本県の「木と森の文化の発信」を推進するため、オーストリアで開催された展示会出展や林業先進地視察等を実施。	計画通り ○	0	7,500	4,526		4,526	
11	木育推進事業						8,927	0	0			
12	信州の木活用モデル地域支援事業						17,500	0	0			
13	長野・オーストリア林業技術交流事業						3,000	0	0			
14	林業再生推進活動事業						6,083	0	0			
合 計								199,467	134,229	118,974	-64,650	50,055